

名古屋株主説明会

代表取締役副社長 CFO

佐藤 洋二

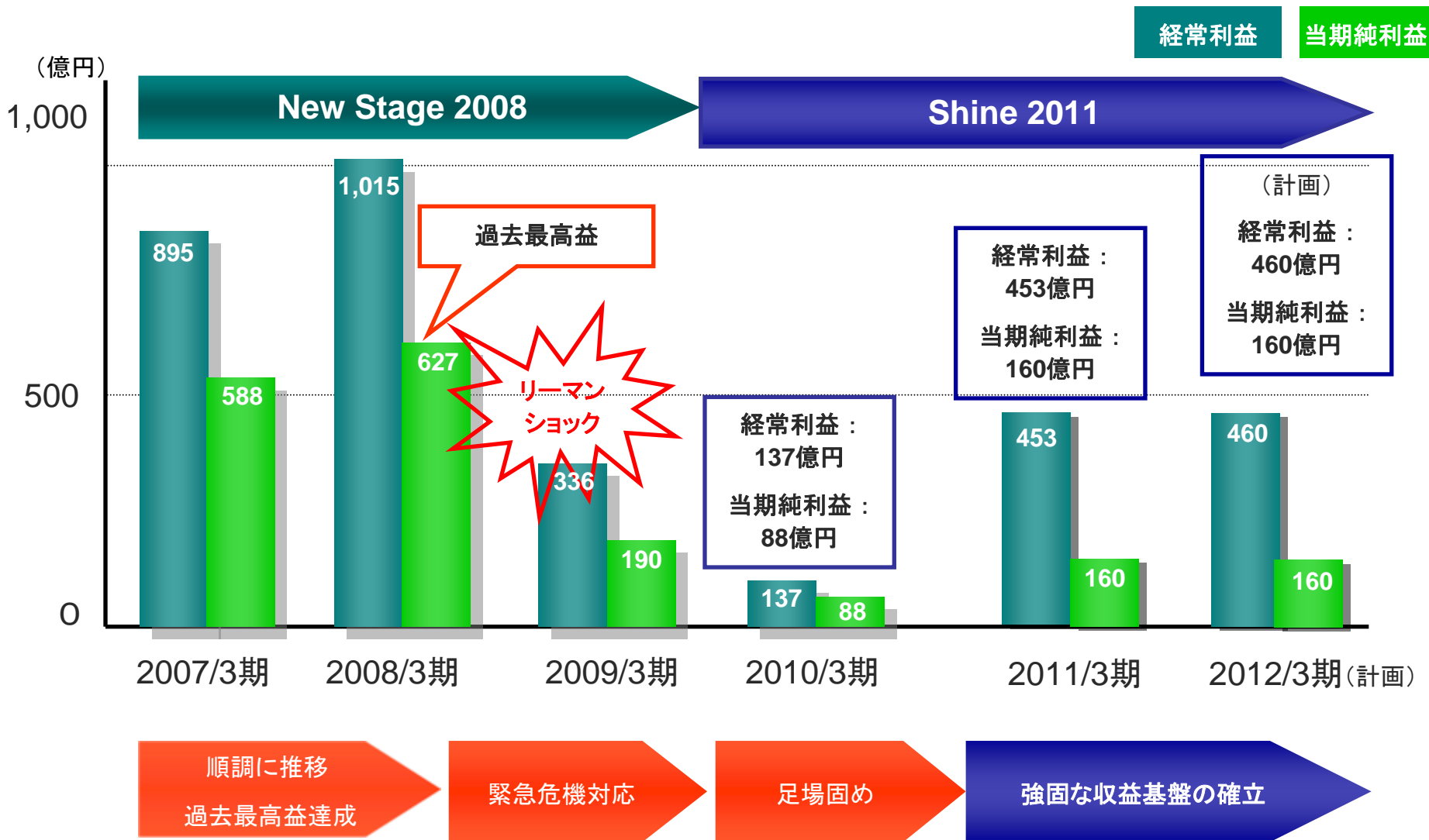
2011年8月29日
双日株式会社

□ 本日のトピックスについて

1. 双日の現状
2. 第1四半期決算概況
3. 双日の配当政策

1. 双日の現状

□ 双日の現状と今後の計画



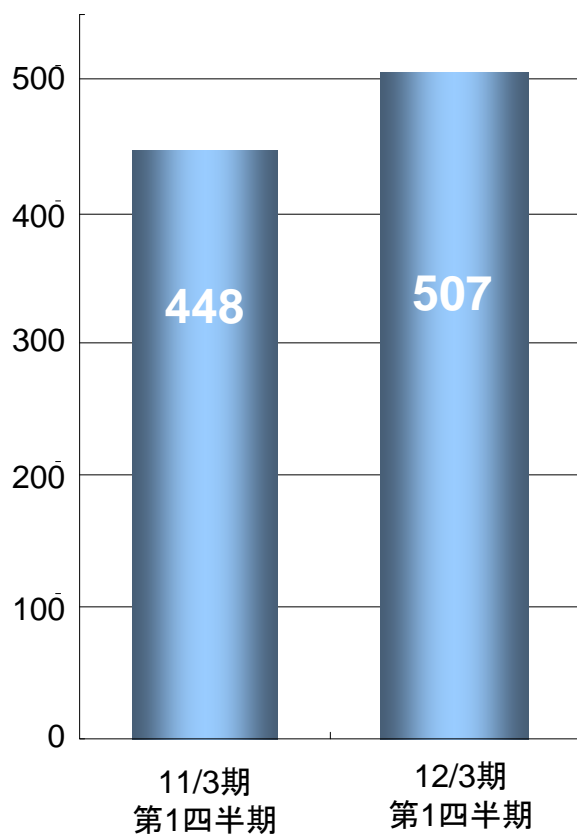
2. 第1四半期決算概況

□ 2012年3月期第1四半期決算概況

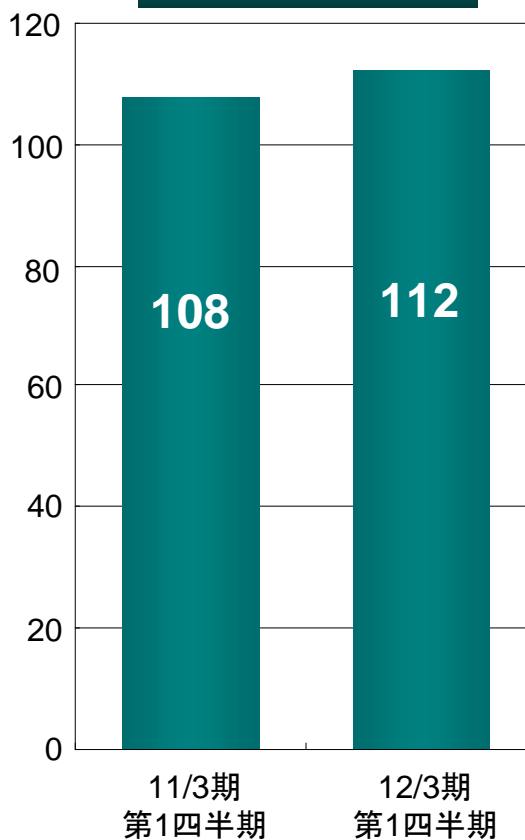
新興国における経済成長に伴う価格上昇、需要増により前年同期比増益

(単位: 億円)

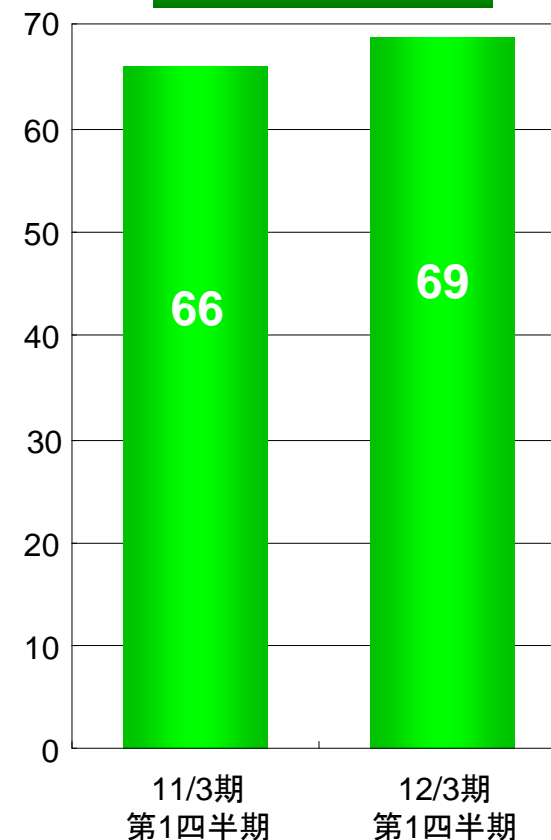
売上総利益



経常利益



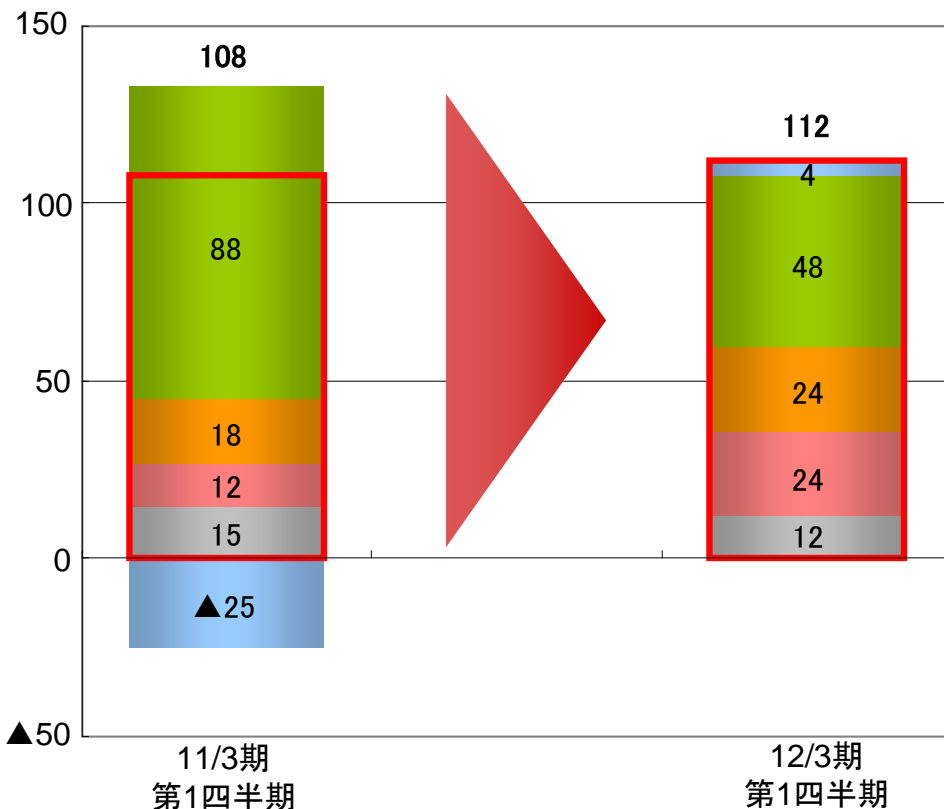
当期純利益



□ 2012年3月期第1四半期決算概況

収益力回復により全セグメント経常黒字を維持

(単位:億円) 事業セグメント別経常利益推移



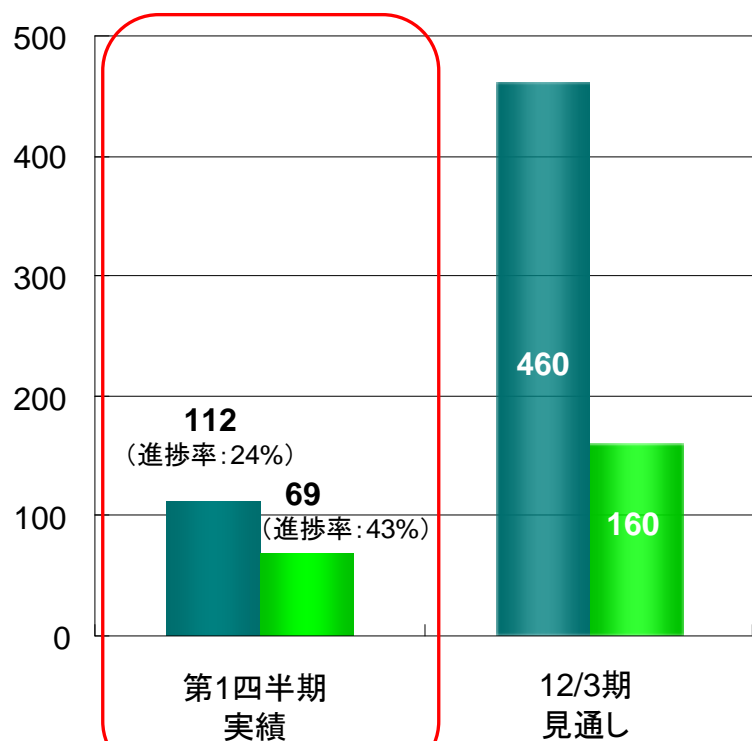
前年同期比増減要因

- **機械**(前年同期比 +29億円)
中南米、ロシアNISの自動車事業会社の販売台数増加等により大幅改善
- **エネルギー・金属**(前年同期比 ▲40億円)
石油、石炭の価格上昇および生産量増加により売上総利益は増益となったが、持分法投資利益の減少により減益
- **化学品・機能素材**(前年同期比 +6億円)
主にアジア地域の需要増により増益
- **生活産業**(前年同期比 +12億円)
煙草の取扱数量増加、木材取引等の増加により増益

□ 2012年3月期第1四半期決算概況

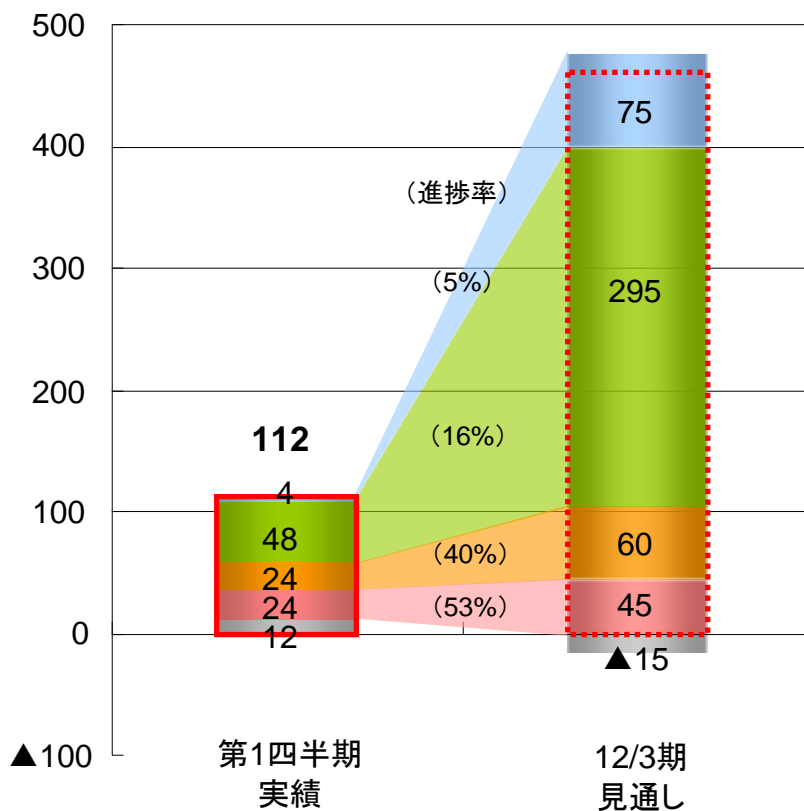
通期見通しに対し順調な進捗

(単位:億円)



■ 経常利益 ■ 当期純利益

事業セグメント別経常利益



■ 機械 ■ エネルギー・金属
 ■ 化学品・機能素材 ■ 生活産業 ■ その他

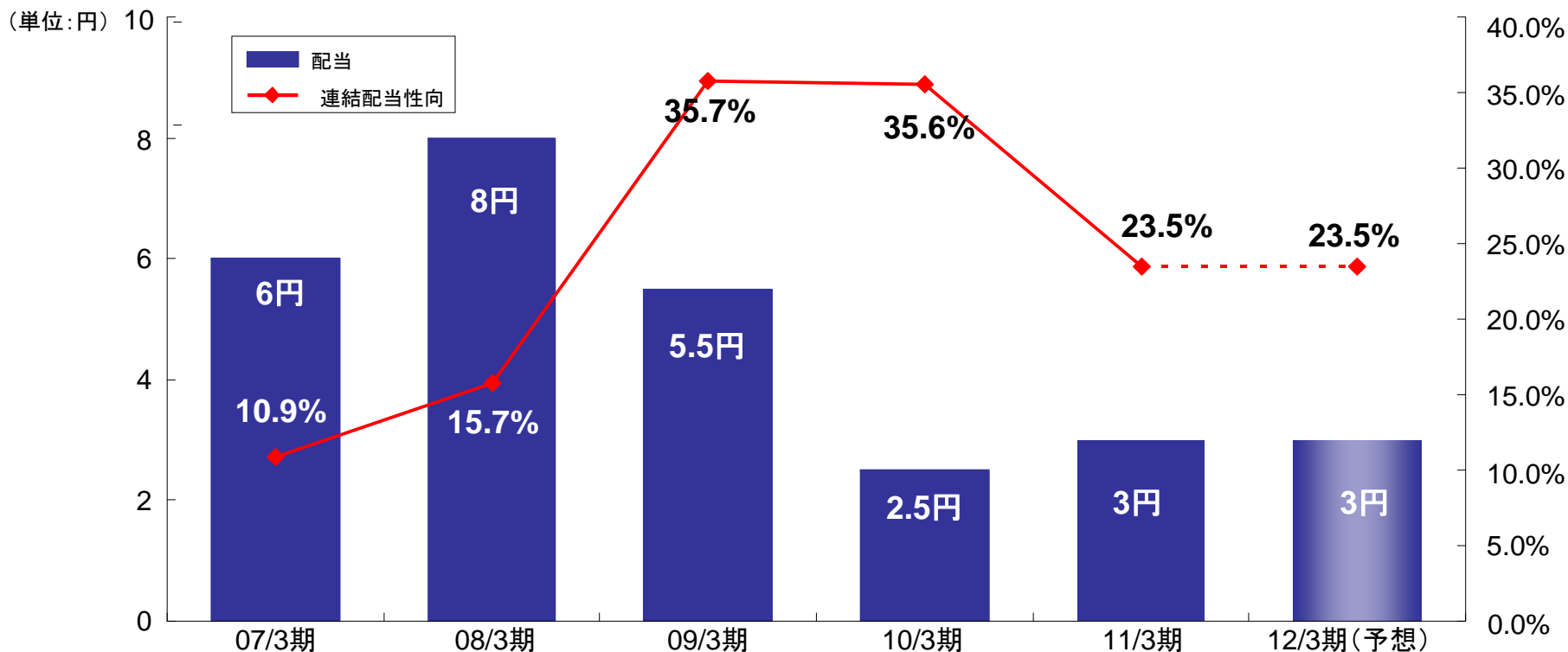
3. 双日の配当政策

□ 配当政策

1株当たり年間配当金・連結配当性向推移

配当に関する基本方針

安定的かつ継続的に配当を行うとともに、内部留保の拡充と有効活用によって企業競争力と株主価値を向上させることを経営の重要課題のひとつと位置付けとしています



(注) 連結配当性向につきましては期末発行済普通株式数にて算定しております

【補足資料】 決算実績サマリー



■ P/L推移

(単位:億円)

	07/3期 実績	08/3期 実績	09/3期 実績	10/3期 実績	11/3期 実績	12/3期 見通し
売上高	52,182	57,710	51,662	38,444	40,146	43,800
売上総利益	2,545	2,777	2,356	1,782	1,927	2,140
営業利益	779	924	520	161	375	500
経常利益	895	1,015	336	137	453	460
当期純利益	588	627	190	88	160	160
基礎的収益力	898	1,107	483	144	419	545
(ご参考)						
ROA	2.3%	2.4%	0.8%	0.4%	0.7%	0.8%
ROE	12.8%	13.0%	4.8%	2.6%	4.7%	4.8%

■ B/S推移

(単位:億円)

	08/3末	09/3末	10/3末	11/3末		08/3末	09/3末	10/3末	11/3末	
流動資産	16,760	14,732	12,853	12,667	有利子負債	短期	5,973	4,289	3,068	3,097
						長期	7,018	8,580	8,867	8,066
投資、 その他資産	9,934	8,398	8,756	8,503	その他負債		8,500	6,706	5,900	6,452
					自己資本(※) (純資産合計)		4,760 (5,203)	3,190 (3,555)	3,524 (3,774)	3,300 (3,555)
資産合計	26,694	23,130	21,609	21,170	負債・純資産合計	26,694	23,130	21,609	21,170	
リスクアセット (自己資本対比)	3,800 (0.8倍)	3,500 (1.1倍)	3,200 (0.9倍)	3,100 (0.9倍)	自己資本比率 (%)	17.8%	13.8%	16.3%	15.6%	
流動比率(%)	121%	142%	153%	142%	ネット有利子負債	9,189	8,653	7,378	7,006	
長期調達比率 (%)	54%	67%	74%	72%	ネットDER(倍) (ネットDER(倍) 純資産合計ベース)	1.9 (1.8)	2.7 (2.4)	2.1 (2.0)	2.1 (2.0)	

(※) 自己資本=純資産合計-少数株主持分



sojitz

New way, New value

将来の見通しに関する注意事項

資料に記載されている将来の計画数値、施策など見通しに関する内容は、現在入手可能な情報から当社が現時点で合理的であるとした判断および仮定に基づいて算定されています。従って、実際の業績は内外主要市場の経済状況や為替相場など様々な重要な要素により、記載の見通しとは大きく異なる可能性があります。